

青森縣產哺乳類目錄

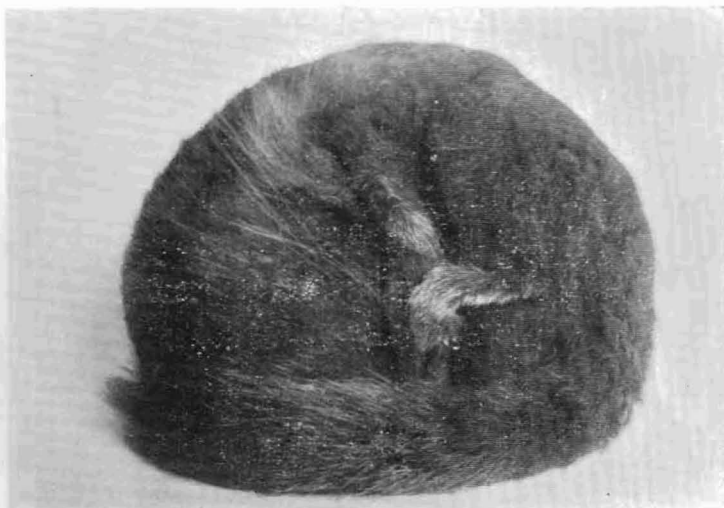
和田干藏



青森博物研究会會報第五号別刷(昭和十二年四月)



イヒツナイタチ (冬毛)  
(大正十三年十二月 青森市産 剥製標本)



冬眠中のヤマネ  
(昭和四年一月 下北郡佐井村字原田産)

## 青森縣産哺乳類目録

和田 干 藏

青森縣産哺乳類の分布に關しては、從來纏まつた記録が表れてゐない。予は日頃縣内各地の獸類を海陸兩方面に互つて調査を續けて來たが、昭和九年九月上旬に開かれた東奥日報社主催の青森縣博物展覽會の際には約40種位の目録を書き上ぐる事が出来た。處がその後精細に調べてみると50種以上に達する哺乳類が縣内に産することが判つたので、取敢ず本誌を借りて紹介する事とした。但し調査粗漏の點もあるべく其等は他日増補する豫定である。

本篇に採用した分類法は岸田久吉氏の哺乳動物圖解（大正十三年）によつたのである。

## (A) INSECTIVORA 食蟲目

## (I) TALPIDAE モグラ科

- (1) *Mogera wogura* <sup>minor</sup> *wogura* (TEMMINCK, 1842.) Kuroda 1936

和名 マジモグラ ミサクモグラ

方言 ももらもづ もぐらもづ

採取地 東津輕郡諏訪ノ澤、南津輕郡竹館、青森市（白化せるものの標本を蔵す）

- (2) *Urotrichus talpoides hondonis* THOMAS, 1908.

和名 ホンシウヒミズ

方言 ももらもづ

採取地 八甲田山、下北郡大間、恐山 青森市、東津輕郡龍飛

## (II) SORICIDAE トガリネズミ科

- (3) *Crocidura (Crocidura) dsinezumi chisai* THOMAS, 1905.

和名 ホンシウヂネズミ

採取地 青森市外松森 (1930. 10. 10. 佐藤蒞氏採取)

(4) *Chimarrogale platycephala* (TEMMINCK, 1842.)

THOMAS, 1905.

和名 カハネズミ

方言 かねずみ

採取地 弘前市、青森市水上警察署前を流る小川

(5) *Sorex shinto shinto* THOMAS, 1905.

和名 トガリネズミ

方言 いひづな (三戸郡名久井村)

採取地 上北郡野邊地、三戸郡名久井、西津輕郡車力

## (B) RODENTIA 齧 齒 目

### (III) LEPORIDAE ウサギ科

(6) *Lepus brachyurus etigo* ABE, 1918.

和名 エチゴウサギ (越後兎)

方言 うさぎ をさぎ

採取地 下北郡大間、八甲田山、岩木山麓、夏泊半島

(7) *Lepus brachyurus brachyurus* TEMMINCK, 1845.

和名 ノウサギ (冬白化せず)

方言 うさぎ

採取地 三戸郡市川、斗川、上北郡三澤

### (IV) MUSCARDINIDAE ヤマネ科

(8) *Glirulus japonicus* (SCHINZ, 1845.) THOMAS, 1905.

和名 ヤマネ

方言 きのこだま

採取地 八甲田山、下北郡佐井村大字原田(扉圖版、参照)  
大奥村大字奥戸及び大間

### (V) MURIDAE ネズミ科

(9) *Microtus montebelli* (MILINE-EDWARDS, 1874.)

和名 ハタネズミ

方言 ねずみ

- 採取地 下北郡大間、青森市
- (10) *Evotomys niigatae* (ANDERSON, 1909.)  
和名 ヤチネズミ =イガタネズミ  
採取地 西津輕郡深浦、赤石
- (11) *Evotomys andersoni* THOMAS, 1905.  
和名 トウホクヤチネズミ  
採取地 八甲田山、西津輕郡車力
- (12) *Apodemus speciosus speciosus* (TEMMINCK, 1845.)  
和名 アカネズミ  
採取地 八甲田山酸ヶ湯附近
- (13) *Apodemus geisha geisha* (THOMAS, 1905.)  
和名 ヒメネズミ  
採取地 八甲田山(酸ヶ湯大岳鏡沼畔)上北郡野邊地(種馬所及び公園)
- (14) *Rattus rattus rattus* (LINNAEUS, 1758.)  
和名 クマネズミ  
採取地 八甲田山酸ヶ湯温泉客舎、青森市
- (15) *Rattus rattus dexandrinus* (GEOFFROG, 1803.)  
和名 エヂプトネズミ  
採取地 青森市、東津輕郡三厩
- (16) *Rattus norvegicus* (ERXLEBEN, 1777.)  
和名 トブネズミ  
採取地 八甲田山酸ヶ湯温泉、大間辨天島燈臺及び縣内各地  
(白化せるもの往々捕はる)
- (17) *Rattus tanezumi* (TEMMINCK et SCHLEGEL, 1842-1845.)  
和名 タネズミ  
採取地 青森市、上北郡野邊地
- (18) *Mus molossinus* TEMMINCK et SCHLEGEL, 1845.  
和名 ハツカネズミ  
採取地 青森市、弘前市、八戸市

(VI) SCIURIDAE リス科

- (19) *Sciurus lis* TEMMINCK, 1845.  
和名 リス  
方言 きねずみ

採取地 八甲田山、十和田湖畔、下北郡大間

(VII) PTEROMIDAE ムササビ科

- (20) *Petaurista leucogenys nikkonis* THOMAS, 1905.

和名 ニツクワウムササビ

方言 ばんどり むささび

採取地 八甲田山、下北郡大間、佐井

- (21) *Sciuropterus momonga amygdali* THOMAS, 1905.

和名 ホンシウモモンガ

方言 よぶしま (十和田附近)

採取地 八甲田山、十和田山

(C) CHIROPTERA 翼手目

(VIII) VESPERTILIONIDAE ヒナカウモリ科

- (22) *Plecotus auritus sacrimontis* ALLEN, 1908.

和名 ウサギカウモリ

採取地 青森市

- (23) *Nyctalus aviator* THOMAS, 1911.

和名 ヤマカウモリ

採取地 青森市、八甲田山酸ヶ湯、弘前

- (24) *Pipistrellus abramus* (TEMMINCK, 1835.)

和名 アブラカウモリ

方言 かもりねずみ

採取地 八甲田山城ヶ倉、西津軽郡岩崎村ガンガラ穴、青森市善知鳥神社

- (25) *Rhinodophus nippon* TEMMINCK, 1835.

和名 キクガシラカウモリ

採取地 東津軽郡横内

(D) PRIMATES 霊長目

(IX) CYNOPITHECIDAE キノビテクス科

- (26) *Macaca (Innus) fuscata* (BLYTH, 1875.)

和名 サル シコクサル ニホンサル マシラ マシコ  
 方言 まし  
 採取地 下北郡佐井、東津輕郡大倉岳

(E) **CARNIVORA** 食肉目

(X) **URSIDAE** クマ科

(27) *Ursus torquatus japonicus* SCHLEGEL, 1857.

和名 クマ ツキノワグマ

採取地 下北郡恐山、西津輕郡赤石

(XI) **CANIDAE** イヌ科

(28) *Canis lupus hodophylax* TEMMINCK, 1844.

和名 ヤマイヌ

方言 おいの おうがめ おうがみ

採取地 絶滅種にして今は單に頭骨の標本を見るに過ぎない

(29) *Nyctereutes viverrinus* TEMMINCK, 1844.

和名 タヌキ ムジナ

方言 くさいこ たのぎ

採取地 南津輕郡中郷、竹館、下北郡近川

(30) *Vulpes japonicus* GRAY, 1866.

和名 キツネ

方言 いなりさま

採取地 下北郡川内、南津輕郡竹館

(XII) **MUSTELIDAE** イタチ科

(31) *Meles anakuma* TEMMINCK, 1844.

和名 アナクマ

方言 まみこ まみ めよ

採取地 八甲田山、東津輕郡大倉岳

(32) *Lutra lutra lutra* (LINNAEUS, 1758.)

和名 カハウソ

方言 かはそ かねこ こうねこ

採取地 上北郡相坂川、青森市沖館川

- (33) *Mustela (Mustela) erminea nippon* (CABRELA, 1913.)  
和名 フコジヨ ヤマイタチ  
方言 しろいたち(冬毛は白變する故)  
採取地 八甲田山新湯附近、東津輕郡高田、南津輕郡浪岡  
板留
- (34) *Mustela (Mustela) rixosa namiyei* KURODA, 1921.  
和名 イヒヅナイタチ コエゾイタチ(日本動物圖鑑)  
方言 ゑづな かせぎ ひとさつくきつねこ  
採取地 東津輕郡油川(野木羽公園)、青森市(扉圖版、參照)  
上北郡百石
- (35) *Mustela (Lutreda) itatsi itatsi* TEMMINCK, 1844.  
和名 イタチ  
方言 いだづ  
採取地 八甲田山、青森市、弘前市
- (36) *Martes melampus melampus* (TEMMINCK, 1842.)  
和名 テン キテン  
方言 てんこ  
採取地 八甲田山、東津輕郡戸崎、下北郡佐井

(XIII) OTARIIDAE アシカ科

- (37) *Zalophus lobatus* GRAY, 1822.  
和名 アシカ  
方言 とど となり  
採取地 西海岸久六島、青森灣(油川)
- (38) *Callotaria ursina* (LINNAEUS, 1758.)  
和名 オツトセイ  
採取地 青森灣(稀に漁網に漂入す)

(XIV) ODOBENIDAE セイウチ科

- (39) *Odobenus obesus* (ILLIGER, 1804-1811.)  
和名 セイウチ(海象、海馬)  
採取地 八戸市白銀三島下海邊岩礁上に昭和十二年三月五日  
(朝)に出現銃獵された。

(XV) PHOCIDAE アザラシ科

- (40) *Phoca (Pagomys) largha* PALLAS, 1831.



和名 フイリアザラシ  
 方言 あじやらし  
 採取地 下北郡大間(津軽海峡)

- (41) *Phoca (Phoca) vitulina* LINNAEUS, 1758.

和名 アザラシ  
 方言 あじやらし  
 採取地 東津軽郡荒川(堤川上流)、青森灣(油川)

## (F) CETACEA 鯨 獸 目

### (XVI) BALAENOPTERIDAE ナカスクデラ科

- (42) *Balaenoptera physalus* (LINNAEUS, 1766.)

和名 ナガスクデラ  
 採取地 八戸沖合、野邊地灣

- (43) *Balaenoptera sibbaldii* (GRAY, 1847.)

和名 シロナガスクデラ  
 採取地 八戸沖合

- (44) *Balaenoptera borealis* LESSON, 1828.

和名 イワシクデラ  
 採取地 野邊地灣(稀)

- (45) *Megaptera nodosa* (BONNATERRE, 1789.)

和名 ザトウクデラ コモチクデラ  
 採取地 八戸沖合(極稀)

### (XVII) BALAENIDAE セミクデラ科

- (46) *Balaena glacialis* BONNATERRE, 1789.

和名 セミクデラ  
 採取地 八戸沖合(稀)

### (XVIII) PHYSETERIDAE マツクワウクデラ科

- (47) *Physeter macrocephalus* LINNAEUS, 1758.

和名 マツクワウクデラ  
 採取地 野邊地灣(稀)

### (XIX) DELPHINIDAE イルカ科

- (48) *Delphinus dussumieri* BLANTORD, 1891.

和名 イルカ マイルカ  
方言 ゆりが 頭骨を烏天狗と云ふ  
採取地 青森灣、津輕海峽

(49) *Globicephala scammoni* COPE, 1869.

和名 ゴンドウ ゴンドウクヂラ  
採取地 大間(津輕海峽)

### (G) ARTIODACTYLA 偶蹄目

#### (XX) SUIDAE キノシシ科

(50) *Sus leucomystax* TEMMINCK, 1845.

和名 キノシシ  
採取地 上北郡天間林貝塚 (本縣にては既に絶滅し諸所の貝塚よりその頭骨が発見されるに過ぎない)

#### (XXI) CERVIDAE シカ科

(51) *Cervus (Sika) nippon nippon* TEMMINCK, 1837.

和名 シカ  
採取地 角は上北郡天間林貝塚 (本縣では絶滅の状態で、その角は各所に保藏され、又貝塚にも発見される)

(52) *Cervus (Cervus) matsumotoi* KISHIDA, 1924.

和名 エゾアカシカ  
採取地 明治初年迄大間附近に多かつたとの事であるが何時の間にか捕りつくされてしまひ、その角は唯大間小學校に完全な大形のもが保存されてあるに過ぎない

#### (XXII) BOVIDAE ウシ科

(53) *Capricornis (Capricornulus) crispus* (TEMMINCK, 1840.)

和名 カモシカ(羚羊)  
方言 あをしし あを  
採取地 東津輕郡大倉岳、北津輕郡相内、上北郡横濱

### (H) PROBOSCIDEA 長鼻目(象目)

#### (XXIII) PALAEOASTODONTIDAE バレーオマストドン科

(54) *Palaeoloxodon aomoriensis* TOKUNAGA, 1936.

和名 アヲモリザウ (新稱) (化石種)

採取地 上北郡七戸町天神林七戸川沿岸の洪積統砂質粘土層より大正十年石田收藏氏により發掘され、その齒及び骨髄は全部東京農業大學に保藏されてゐる

長さ3尺8寸(1.44m)  
骨の長さ9寸

以上本縣産哺乳類は 8目 23科 54種類 (亞種を含む) となるが、これを更に内譯してみると次の様である。

- |         |           |         |           |
|---------|-----------|---------|-----------|
| (1) 食蟲目 | 2科 2種 3亞種 | (2) 齧齒目 | 5科 9種 7亞種 |
| (3) 翼手目 | 1科 3種 1亞種 | (4) 靈長目 | 1科 1種     |
| (5) 食肉目 | 6科 8種 7亞種 | (6) 鯨獸目 | 4科 8種     |
| (7) 偶蹄目 | 3科 3種 1亞種 | (8) 長鼻目 | 1科 1種     |

以上縣産哺乳類は亞種を加へて54種となるが、これを日本全土産哺乳類の亞種を含めた約200種に比較すると約27%に當る。然し之を北海道産哺乳類と比較してみると、縣産のものは十種以上も多いと計算され而もその由來は人爲的に移入されたりしたものがなく、全く自然の分布相を發揮してゐる特徴がある。而してその分布範圍が北海道と共通してゐるものには陸産のクマネズミ、エヂプトネズミ、ドブネズミ、ウサギカウモリ、ヤマカウモリ、キクガシラカウモリ、カハワソ、イヒツナイタチ、イタチ、シカ、エゾアカシカ等の11種、海産のアシカ、オツトセイ、ファイリアザラシ、アザラシ、ナガスクヂラ、シロナガスクヂラ、イハシクヂラ、ザトウクヂラ、セミクヂラ、マツクワウクヂラ、イルカ、ゴンドウ等の12種、合計23種あるが、海産哺乳類は季節的に廻游したり漂現したりするものであるから便宜上之等を省略することとなせば、共通種は僅か11種に過ぎない。

此の數字を本縣産哺乳類總數54から海産哺乳類數13を差引いた41に比較すると其の約27%に過ぎなくなり、他の残つた約73%のものは、北海道とは全然關係がなく、反つて主として本州中部以南と共通するものである。

之の由來は津輕海峽と云ふ障害が出來た爲め、南方から北上して來たものは本縣に止まり、又北方から南下して來たものは北海道に止まつた結果に依るものである。又象が本縣七戸から化石として發見されたのは、地質時代に本邦がアジア大陸と陸續きであつた當時、現在の朝鮮海峽を経て、本州を北上し、本縣に達したのであるが、七戸附近は彼等生存の好環境をそなへてあつたに違ひがなく、此の事は現在立派な牧野になつて居る點から考へても想像し得る處である。

而して縣産哺乳類中には本縣特産種と稱すべきものがないが、學界に珍重

されてゐるものは先づヤマネである、又 サル、カモシカ、キツネ、タヌキ等もいづれ劣らぬ珍獣である。

今後の研究は哺乳類では頭骨の標本が基準になるものであるから、各地で捨てて顧みられないキツネ、タヌキ、クマその他の頭骨は新古不完全に係はらず出来るだけ注意して蒐めて頂き度いのである。予はそれに對しては相當の謝禮を差上げる準備が出来て居る故會員諸君の熱誠なる御盡力を懇願し期待する次第である。

引用文獻

- (1) 青木文一郎 エチゴウサギ類の分布圖、動物學雜誌 第 23 卷 第 270 號 (1911)
- (2) 同 上 本邦に於ける哺乳動物の分布狀況、動物學雜誌 第 25 卷 第 300 號 (1913)
- (3) 同 上 日本産鼠科、動物學雜誌 第 27 卷 第 322 號 (1915)
- (4) 阿部余四男 エチゴウサギの本土に於ける分布、動物學雜誌 第 29 卷 第 345 號 (1917)
- (5) 岸田 久吉 哺乳動物圖解 (1924)
- (6) 黒田 長禮 ヤマネの分布と習性、動物學雜誌 第 30 卷 第 352 號 (1918)
- (7) 同 上 日本産哺乳類の和名に就て、動物學雜誌 第 31 卷 第 374 號 (1919)
- (8) 同 上 ウサギカハホリの學名に就て、動物學雜誌 第 32 卷 第 375 號 (1920)
- (9) NAGAMICHI KURODA, On three New Mammals from Japan, Journal of Mammalogy Vol. 2, No. 4, pp. 208—211. (1921)
- (10) 小川 鼎三 本邦産海豚の分類に就て (一、二)、齋藤報恩會時報 第 69—70 號 (1932)
- (11) 鹿間 時夫 日本産化石長鼻類の標本産地及び文獻、齋藤報恩會時報 第 122 號 (1937)
- (12) SIEBOLD Fauna Japonica Reptilia (1838)
- (13) 北 隆 館 日本動物圖鑑 (1927)
- (14) 田子 勝彌 日本近海に産する鯨族に就きて、動物學雜誌 第 34 卷 故飯島博士記念號 (1922)

- (15) 徳永 重康 青森縣七戸町附近の地質と出土の象化石、地學雜誌  
第 48 卷 第 564 號 (1936)
- (16) 東奥日報社 白銀に海象咆哮 東奥日報 三月六日 (1937)
- (17) 和田 干藏 青森縣産カモシカの胎兒、動物學雜誌 第 35 卷  
(1923)
- (18) 同 上 八甲田山に於ける青蛙の研究 (附録)  
齋藤報恩會學術研究報告 10 (1931)
- (19) 同 上 我が郷土のブラキストン線、青森縣師範學校 校友會  
郷土號 第 1 號 (1933)
- (20) 同 上 本州最北端大間崎の生物相大觀、青森博物研究會會報  
第 4 號 (1937)
- 以上 (昭和十二年三月廿六日 犬飼博士來訪之日 脱稿)